

2 0 2 5 年度

東北工業大学公募制推薦型選抜

## 「小論文」 問題用紙

### 【注意事項】

「小論文」を記述するにあたっては、次の要領に従ってください。

1. 鉛筆またはシャープペンを使用してください。
2. 受験学科、受験番号、氏名を記入してください。
3. 記述は横書きで、時間は 80 分です。
4. 配布した〈小論文 メモ用紙〉は、メモ用として使用してください。提出は不要です。

【問題】記事「生徒が作る規則、正解は？ 「忘れ物で給食おかわり禁止」物議 解決力育成へ試行錯誤」を読み、次の課題に答えなさい。

I 記事の要旨を 200 字以内（句読点を含む）で書きなさい。

II 記事の内容をふまえて、「生徒が規則を作る制度」についてのあなたの意見を 600 字以内（句読点を含む）で書きなさい。（意見を述べる際には、そのように考えた理由を必ず記述すること）

記事「生徒が作る規則、正解は？ 「忘れ物で給食おかわり禁止」物議 解決力育成へ試行錯誤」

忘れ物を繰り返したら給食のおかわり禁止——。埼玉県桶川市にある中学校の一部クラスで、こうした「ルール」が校則とは別に設けられていたことが毎日新聞の取材で判明した。学校生活の問題を解決しようと、クラスごとに独自のルールを考える取り組みの中で生まれたという。生徒たちの声を反映している半面、戸惑う生徒や疑問視する保護者もいて、学校の試行錯誤が続いている。

この学校の男子生徒（13）は昨春の入学早々、校則が列举されたプリントを受け取った。続いて担任教諭から数々の「ルール」を口頭で告げられ、その内容に驚いた。

「忘れ物を複数回したら給食のおかわりをしてはならない」

「班の全員が次の授業の準備ができるまで（授業間の）休憩に入ってはならない」

男子生徒によると、ルールを破ったら担任に報告がいくことになっていたという。自身は次の授業の準備が遅れ、トイレに行かせてもらえないことがあった。

「生徒同士で監視し合っているようで息苦しい……」。男子生徒がそうこぼすのを聞いた母親（48）は学校に疑問を呈した。「給食が貴重な栄養源となっている困窮家庭もある。体調不良ですぐにトイレに行きたい生徒だっている。『ルール』は子どもたちの心身の成長を妨げ、人権侵害にあたるのではないか」

この二つのルールはいずれも昨夏までに撤廃された。教頭は取材に「忘れ物と給食のおかわりを結びつけるのはやはり問題があると判断した」と説明。授業の準備をしないと休憩を取れないルールについては「トイレは生理現象なので妨げてはいけなと担任が指導していた」と話した。

この学校は、学級委員ら生徒数人と担任とが話し合う場を不定期で設けている。「忘れ物をする人が多い。何か手を打った方がいい」「次の授業の準備ができていないのに、休み時間にもたもたしている人が目に付く」。こうした生徒の声を踏まえて「忘れ物でおかわり禁止」などを担任も承認した。生徒が考案したルールは他にもあり、例えば「掃除が不十分な箇所を（クラスの）班長が指摘する」は今も運用されている。

一方で「体操着のハーフパンツのひもは購入時の色でなくてはならない」といった、学校が「承知していない」ルールもある。「別のひもに交換したら『色が違うじゃないか』とクラスで大騒ぎになった」と男子生徒は言う。母親は「ルールで人を縛る感覚が子どもたちの間に出てきてしまったのでは」といふかった。

生徒主体のルール作りは「学校生活で改善すべき点を浮かび上がらせ、解決方法を考える力を育む」のが狙い。ただし物議を醸すケースもあり、教頭は「生徒から出るアイデアには素晴らしいものもあれば、『行き過ぎだ』と感じるものもある。ルールを承認する担任がより厳しく見極めていきたい」としている。

「ブラック校則」と呼ばれる学校の理不尽なルールを巡っては、文部科学省が 2022 年に教員用の手引書「生徒指導提要」を改定し、校則を見直す際は子どもや保護者の意見を反映させるのが「望ましい」とした。子どもが主体的に校内のルール作りに関わる「ルールメイキング」を取り入れる学校も増えている。

校則問題に詳しい名古屋大の内田良教授（教育社会学）はこうした取り組みの意義を強調したうえで「子どもは時に理不尽なルールを提案してしまうことがある。『忘れ物で給食のおかわり禁止』といった提案があれば、学校側は採用せず、その問題性について子どもたちを論す必要があった」と指摘した。

【加藤佑輔】

（『毎日新聞』、2024 年 6 月 18 日より）